

行財政改革実施計画・行動計画票

No.	33	[平成18年5月9日提出]			
基本方針	歳入確保のための主要な取り組み	担当課名	税務課		
重点項目	町税等の確保				
取組項目	滞納整理の促進				
経過・現状 (H17.4.1現在)	現在滞納者の数に対して徴収職員の不足もあり、反応のある滞納者に対してだけの徴収になっている。また、不能欠損処理については、5年経過後処理しているところが見られる。				
行 動 概 要	目標	全滞納者への徴収の実施 (目標年次) 平成18年度			
	期待される効果	現在接していない滞納者の徴収実施			
	必要性・問題点	全滞納者への徴収の強化、悪質・大口滞納者への対応。			
	対象	全滞納者			
	手段	年度	実施内容・予定時期	効果額合計(0千円)	
	17年度 (実績)	悪質滞納者の臨戸訪問。不納欠損処理の見直し。		目標 数値	
		効果	歳入(千円)		
			歳出(千円)		
	18年度	収納対策班で悪質滞納者の洗い直しを行う。不納欠損処理の適正化を行う。差押事務の検討。		目標 数値	
		効果	歳入(千円)		
		歳出(千円)			
19年度			目標 数値		
	効果	歳入(千円)			
		歳出(千円)			
20年度			目標 数値		
	効果	歳入(千円)			
		歳出(千円)			
21年度			目標 数値		
	効果	歳入(千円)			
		歳出(千円)			
関係例規等	名称			改正時期	

行財政改革実施計画・行動計画票

No.	33	[平成18年4月21日提出]				
基本方針	歳入確保のための主要な取組	担当課名	健康推進課			
重点項目	町税等(国民健康保険税)の確保					
取組項目	滞納整理の促進					
経過・現状 (H17.4.1現在)	滞納者の調査・分析を十分におこなった上で、不納欠損処分をおこなっているが、滞納処分ができる体制ができていない。					
行 動 概 要	目標	滞納処分を実施できる体制づくり			(目標年次) 平成19年度	
	期待される効果	・税負担の公平性確保と納税意識の高揚 ・滞納処分の促進				
	必要性・問題点	滞納整理と滞納処分を平行して実施できる体制整備は必要であり、これが出来ないと被保険者間の不公平感を助長することとなり、多額の滞納繰越額を抱えることとなる。				
	対象	国民健康保険被保険者				
	手段	年度	実施内容・予定時期	効果額合計(0千円)		
		17年度 (実績)	各支所ごとに、集中月間を決め臨戸徴収、夜間徴収等により徴収を強化してきたが、滞納処分まではできなかった。(不納欠損額 51,000千円)	目標 数値		
				効果	歳入(千円)	歳出(千円)
		18年度	滞納者の各種調査・分析を十分おこなったうえで、滞納処分をできる体制を作っていく。また、滞納整理(財産差押え等)のための法令・実務研修を行う。	目標 数値		
				効果	歳入(千円)	歳出(千円)
		19年度	滞納整理のためのマニュアルを策定し、徴収体制を整備する。	目標 数値		
			効果	歳入(千円)	歳出(千円)	
	20年度		目標 数値	滞納繰越分12.0%		
			効果	歳入(千円)	歳出(千円)	
	21年度		目標 数値			
			効果	歳入(千円)	歳出(千円)	
関係例規等	名称		改正時期			